

高砂小だより

た …… 他を思いやる子
 か …… 体をきたえ、安全に過ごせる子
 す …… 進んで学び、深く考える子
 な …… 仲良く、最後までがんばる子
 【育成する子どもの目標】
 「豊かな心」 ～ 輝ける子ども ～

「2021年(令和3年)度 学校評価アンケート」について (概要版)

学校評価についてご回答いただき、ありがとうございました。本校では、学校の様々な教育活動について、学校側の評価だけでなく、保護者や地域の方々からのご意見をいただくことを基本姿勢としております。お寄せいただいた回答を集計し、その結果やご意見につきましては、今後各種会議の資料とするとともに、今後の学校運営に生かしていきます。

なお、今年度におきましても、コロナ禍において児童の地域行事への参加や保護者の皆様が学校行事に参加していただく機会について、地域行事の中止や学校経営における目的達成のための授業参観や運動会等の十分な公開ができなかったため、質問項目からは省かせていただいております。

また、分析も含めた「完全版」については、高砂小学校ホームページに掲載しています。

ぜひご覧いただき、本校における今年度の教育活動へのご理解をしていただくとともに、来年度におけるより一層のご協力をお願いいたします。1年間、ありがとうございました。

1. 集計・分析について

○回答対象者：本校教職員、5・6年生児童、本校保護者

○回答率：教職員・児童は全員
 保護者(410世帯/全460世帯中)⇒89%

○分析数値について ※①から③の数値を算出し分析の根拠とした。

①達成指数：(最高値10、最低値0)とする指数を算出

(例) C【学習全般への取組】「3. 学校での勉強はよくわかります」(2021年度児童)

1. そう思う	2. ほぼそう思う	3. あまり思わない	4. 思わない	5. どちらともいえない・よくわからない	回答児童人数合計
91人 5ポイント	60人 3ポイント	5人 -3ポイント	3人 -5ポイント	5人 0ポイント	164人

選択項目「5. どちらともいえない」を除いた各選択項目のポイント合計の平均を比較数値とし、その項目の達成指数とした。

$$(91 \times 5 + 60 \times 3 + 5 \times (-3) + 3 \times (-5)) \div (164 - 5) = 3.81$$

児童が「学校での勉強はよくわかります」の仮達成指数は 3.81

仮達成指数は-5以上5以下の数値のため、-5を0軸とするために換算

達成指数 = 仮達成指数 + 5 = 3.81 + 5 と換算し、 **達成指数は 8.81**

②対象別達成率：達成指数を100%に換算 $(3.81 + 5) \div 10 \times 100 = 88.1$ **91.1%**

③学校達成率：児童・保護者・教職員の各対象別達成率の平均
 $(児童88.1 + 保護者84.0 + 教職員82.5) \div 3 = 84.86$ **84.9%**

【数値項目からの考察】

仮に、全員が「1. そう思う」を選択すると → 達成指数 10、学校達成率 100%

全員が「2. ほぼそう思う」を選択すると → 達成指数 8、学校達成率 80%

全員が「3. あまり思わない」を選択すると → 達成指数 2、学校達成率 20%

全員が「4. 思わない」を選択すると → 達成指数 0、学校達成率 0%

となるため、判断の一つの基準として、達成指数が7以下・学校達成率が70%以下の場合に、課題傾向にあると考え、改善に向けた検討をしました。

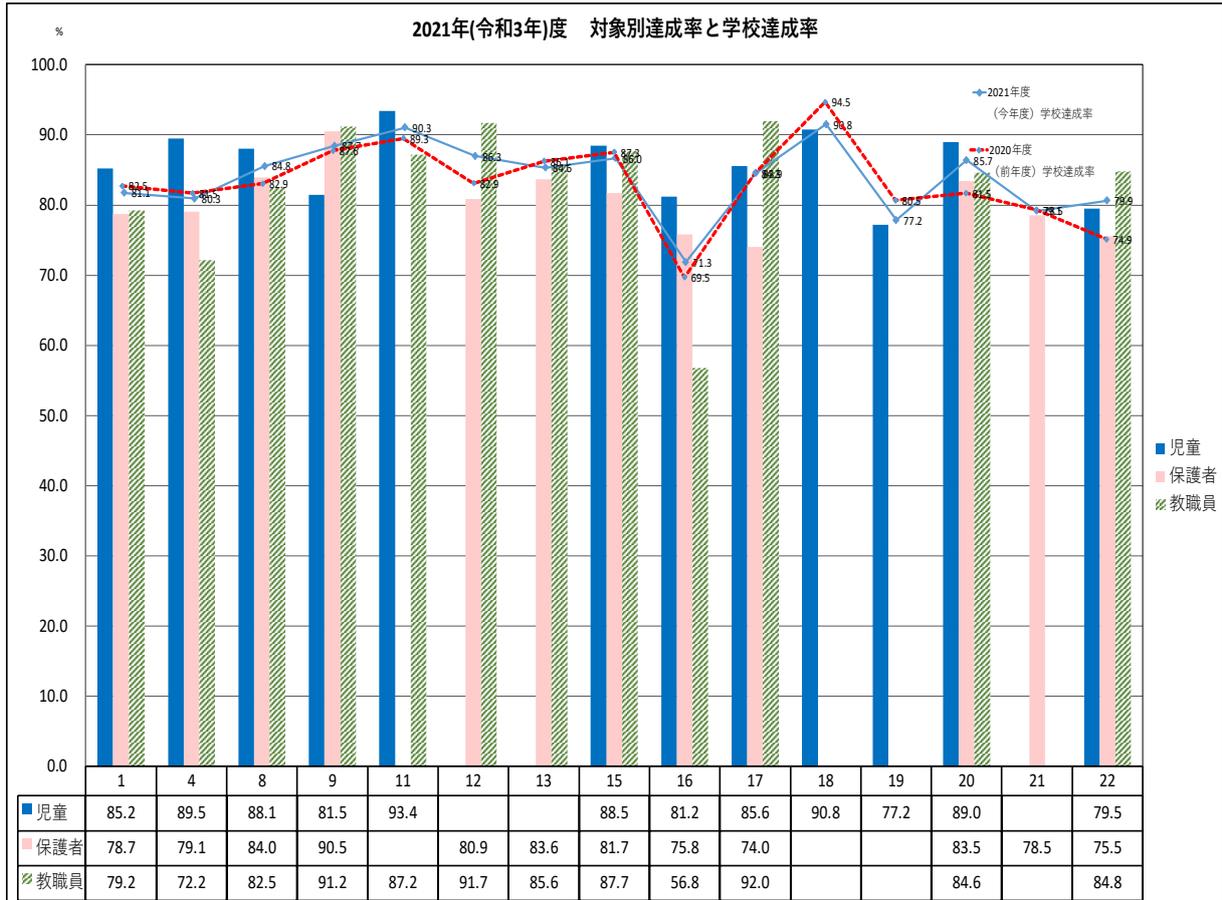
【資料について】

・総合資料：対象別達成率と学校達成率の一覧グラフ

※今年度の分析は、総合資料を中心にすすめ、その傾向について考察を行いました。

また、前年度との比較ができるよう、前年度の学校達成率を加えました。

2021年(令和3年)度 学校評価アンケート 集計結果 <総合資料>



A[学校教育目標・方針・教育課程]	B[学習指導・授業改善]	C[学習全般への取組]	D[支援教育]	E[教職員の姿]	F[基本的な生活習慣]	G[児童理解・支援・未然防止(いじめ等)]	H[安全教育・安全管理・保健指導]	I[教育環境整備]	J[開かれた学校づくり・情報提供]
-------------------	--------------	-------------	---------	----------	-------------	-----------------------	-------------------	-----------	-------------------

	1	4	8	9	11	12	13	15	16	17	18	19	20	21	22	23
【児童】	学校の目標やよきまりを知っています。	学校の行事は楽しいです。	学校での勉強はよく分かります。	学校に行くのは楽しいです。	委員会や係の仕事ががんばっています。			先生たちは、私たちの意見や考えを聞いてくれます。	先生や友だちやおはようボランティアの方などに、自分からあいさつをしています。	こままとときに相談できる先生や友だちがいます。	休み時間は楽しいです。	給食を好き嫌いなく食べています。	心がけています。		学校に話を聞いてもらっています。	地域の行事へ児童館・公民館・お祭りなどに参加しています。行ってみたいです。
【保護者】	学校は、教育目標や方針をわかりやすく伝えてくれています。	学校の行事は、子どもや保護者、地域への関わりが深まっています。	学校は、楽しくわかりやすい授業をしています。	子どもたちは、楽しく学校へ行っています。		学校は、子ども一人ひとりを大切にしています。	保護者の相談にのってくれます。	学校は、子どもたちの考えや意見を聞いてくれます。	子どもたちは、気持ちよいあいさつができています。	学校は、いじめ防止に取り組んでいます。			学校は、子どもや保護者の安全や事故防止に気を付けています。	学校の施設や設備は、よく整っています。	学校は、保護者や地域へ学校の様子をよく教えてくれています。	保護者は、学校行事や学級活動に参加している。
【教職員】	学校教育目標は、児童生徒の実態や保護者や地域の願いを踏まえています。	児童の実態や保護者・地域の願いを踏まえた教育活動を行っています。	学校は、指導方法を工夫し、授業改善に取り組んでいます。	本校児童は、楽しく学校生活を過ごしています。	児童会活動・委員会活動・児童の自主的活動の活性化に努めています。	児童一人ひとりを大切にしている。	外部相談機関との連携をとり、教育相談の充実を図っています。	生活指導上の問題の早期発見に努め、迅速に対応しています。	本校児童は、教職員や友だち、保護者や地域の方々に自分から気持ちよくあいさつができています。	学校は、いじめの早期発見や再発防止の取り組みに努めています。			学校は、児童の安全確保のため、安全指導・施設点検などに努めています。	学校は、保護者や地域に学校の様子を伝えるため、説明の場を設けたりしています。	学校以外の教育力を取り入れたり、校外での体験活動を取り入れたりしています。	

2. 評価結果の分析（成果と課題）について

(1) 【「評価が高い」・「成果がある」と判断できること】

「児童と教職員がともに評価が高い」と判断できる項目

- No.11 児童「委員会や係の仕事をがんばっています。」 94.2%
教職員「児童会活動・委員会活動・児童の自主的活動の活性化に努めている。」 87.2%
- No.17 児童「こまったときに相談できる友だちがいます。」 85.6%
教職員「学校は、いじめの早期発見や再発防止の取り組みに努めている。」 92.0%
- No. 9 児童「学校に行くのは楽しいです。」 81.5%
教職員「本校児童は、楽しく学校生活を過ごしている。」 91.1%

「児童と保護者がともに評価が高い」と判断できる項目

- No. 8 児童「学校での勉強はよく分かります。」 88.1%
保護者「学校は、楽しく分かりやすい授業をめざし、努めている。」 84.0%
- No. 9 児童「学校に行くのは楽しいです。」 81.5%
保護者「子どもたちは、楽しく学校へ行っている。」 90.5%

児童の評価結果 <<「成果がある」と判断できる項目>>

- No.11「委員会や係の仕事をがんばっています。」 93.4%
- No.18「休み時間は楽しいです。」 90.8%
- No.15「先生たちは、私たちの意見や考えを聞いてくれます。」 88.5%

保護者の評価結果 <<「成果がある」と判断できる項目>>

- No. 9「子どもたちは、楽しく学校へ行っている。」 90.5%

(2) 【「今後の課題」と判断できること】

児童の評価結果 <<「今後の課題」と判断できる項目>>

- No.19「給食を好き嫌いなく食べています。」 77.2%
- No.22「家族に、学校の様子をよく話しています。」 79.5%

保護者の評価結果 <<「今後の課題」と判断できる項目>>

- No.17「学校は、いじめ防止に取り組んでいる。」 74.0%
- No.22「学校は、保護者や地域への学校の様子をよく教えている。」 75.5%
- No.16「子どもたちは、気持ちよいあいさつができています。」 75.8%

教職員の評価結果 <<「今後の課題」と判断できる項目>>

- No.16「本校児童は、教職員や友だち、保護者、地域の方々に自分から気持ちのよい挨拶ができています。」 56.8%
- No.24「職員会議が機能し、教育活動全般に生かされている。」 66.1%
- No. 4「児童の実態や保護者・地域の願いを踏まえ、特色ある教育課程の編制をし、教育活動を行っている。」 72.2%
- No.10「学校は、国際理解、情報、環境、福祉、健康、人権など、今日的な課題を踏まえて教育活動を行っている。」
- No.25「教職員は協働意識を持って、取り組んでいる。」 73.9% 72.7%

(3) 新分析：学校達成率の前年度比による今年度の達成状況について

前年度と比較して「評価が高い」・「成果がある」と判断できる項目

- No.20「きれいで過ごしやすい学校になるように心がけています。」 4.2ポイントアップ 85.7%←81.5%
- No.22「家族に、学校の様子をよく話しています。」 5.0ポイントアップ 79.9%←74.9%

3. 今年度の教育活動における学校運営の現状

【1】おもな教育活動

- (1) 外部講師の活用 (2) 校外学習（社会見学、体験活動等）
- (3) 遠足 (4) 『豊かな心』～輝ける子ども～ の育成をめざして

【2】学校重点目標達成にむけての取組

- (1) 校内研究・研修による授業力の向上
 - ①教職員間の連携 ～学年意識の向上と指導体制の充実～
 - ②新学習指導要領全面実施における校内研究の実施
 - ③一人1台の学習端末の活用の推進（ICTを活用した本校の教育活動について）
- (2) 保護者や地域との連携 ～開かれた学校づくりの推進～
 - ①学校からの情報発信 ②来校の機会を設ける ③地域との連携協力
 - ④PTAとの連携
- (3) 校内支援体制の充実
 - ①登校渋りの児童への温かな声かけ ②いじめの未然防止（早期発見・早期対応）
 - ③心のケア・教育相談 ※スクールカウンセラー（毎週木曜日・隔週金曜日勤務）
- (4) 学校安全の充実

【3】その他の教育環境等の充実

- (1) 教育環境・教育活動の充実
 - ①コンピュータ利用
 - ②防災対策 ③交通安全教室 ④教職員による地区パトロール
 - ⑤PTA地域委員によるパトロール（居住地区内の見守りとパトロール）

4. 働き方改革にむけた職員意識の向上について「Docchimo PJ」

5. 学校関係者評価委員会の主なご意見（一部書面開催）

○今年度も全体的に学校達成率が安定しており、学校がこの1年間取り組んできた成果が現れていると感じます。今後の課題とすることについても継続して取り組んでいただきたいと思います。

○高砂小学校の子どもたちは生き生きと元気に過ごしていて、微笑ましく感じる場面ばかりです。あいさつについては、とても大切な日常の関わりですので、もちろん家庭において話をしていくこともしていきますが、いつも一緒にいて頂ける先生方から積極的なあいさつをしていただくことが、子どもたちに習慣づけさせる大きな存在であると感じています。どうぞよろしくお願ひいたします。

○コロナ禍での行事のあり方についても状況を考えながら実施をして頂いていると感じます。ただ、子どもたち同士の関わりを通した学びを大切にしたい学校行事として考えると、運動会については全学年（保護者なし）で実施することも検討して頂ければと思います。保護者の来校を考えて頂くことはうれしいことですが、学校でしか体験することのできない子どもたちの経験を大切にしていくことが必要であると感じます。

○外部講師の授業や遠足、他学年の交流、PTAイベントなど、コロナ禍でもできる限りの活動を行っている様子を感じます。様々な体験を通した子どもたちの学びをこれからもお願いします。

○いじめ防止は、保護者からの評価が今年度もあまり高くない状況です。保護者からはその指導が見えにくいところもあるとは思いますが、取り組んでいないと感じている人も少なからずいるという事実を大切にしていってほしい。学校としてはいじめに対する「未然防止」「早期発見」についての取組を、引き続きしっかりと行ってほしいです。

○小学生は、放課後は公園など地域で遊ぶことが日常の様子であると思いますが、だからこそ地域での子どもたちの姿には、大人としての私たちが見守りを大切にする中で、声をかけていく関係づくりが必要であると感じます。

○ICT教育が推進され、子どもたちの学びにも一人1台の学習端末が当たり前の光景と思いますが、お互いの心のつながりはこれからも大切にしていってほしいと感じています。人権擁護員の取組の一つとして、子どもさんから届いたメッセージの一つ一つに返事を書くことをしています。その時に大切にしていることは、「自分が書いたメッセージの返事を受け取ったときに、そのお子さんが、それを読んでどのように感じているのか」を大切に考えながら、返事を書いています。伝えたい願ひを汲んでいく想像力を持ち続けてほしいなと切に感じています。

○めざす子どもの姿として、「な」仲良く最後までがんばる子より、「あきらめない子」ということも大切なことの一つとして理解できますが、「自分の気持ちが言える子」も伝えていってほしいです。「つらいこと」や「かなしいこと」など、一人で我慢するのではなく、みんなで関わり合える関係が大切だと感じています。

6. 次年度の重点課題

- (1) ICTを活用した授業研究を行いながら、指導と評価の一体化に取り組み、校内研究・研修等を通して教員の指導力向上をめざし、指導法の工夫改善に努める。
- (2) 「新しい生活様式」に対応した教育活動を進めながら、その状況に応じた実践を行う。
 - ①授業・学校行事、たてわり活動等の工夫を通して、異年齢集団での交流を意識し、より良い人間関係の育成に努める。
 - ②児童が自ら考えて行動ができるような安全教育をめざし、校内安全組織を充実させ、災害対策も含めた学校事故防止に努める。
 - ③学校からの情報発信に努め、学校・家庭・地域の連携強化にむけた場の設定の工夫に努める。

7. おわりに

コロナ禍のため、第3回学校評議員会においては学校評価へのご意見等について伺うことができませんでしたが、保護者代表の方も加わっていただく学校関係者評価委員会については書面開催で実施し、この結果を報告いたしました。

全体を通して、おおむね肯定的な評価をいただきましたが、まだまだ不十分であるという評価項目も見受けられます。また評価方法等へのご意見もいただきました。検証を重ね、来年度の学校運営における課題を解決できるよう努めて参ります。